

編集後記

1976年に大韓伝統仏教研究院を創設され、世界屈指の仏教学者を招いての国際学術大会を12回にもわたって開催された金知見先生が、平成13年1月21日、新宿の常円寺にて御逝去されてから早くも2年が経とうとしている。病床に伏しておられても、常にユーモアをお忘れにならず接せられ、後進をご指導下さった先生のお姿が深く心に焼き付いている。また韓国と日本の仏教を心から深く愛され、高山寺の善妙堂を訪れた際のお話では目に涙を浮かべながらお話して下さいました。それ故思いもしない訃報に、残された私達の衝撃は計り知れず大きかった。先生は仏教を軸として日韓両国間のかけがえのない架け橋として、また、日韓両国のみならず国際学術交流に誠心誠意尽力され、日本の地でその御生涯を終えられたのであるが、それは、後に託された韓国仏教留学生達への無言の指導であると思わずにはいられない。

編集会議では、第9号を金知見博士追悼論文集として、先生の卓越した業績を称える一助としての役割を果たすため最善を尽くしたつもりであるが、時間と労力の制約により、先生の意に従うものになったかどうか、甚だ気掛かりである。ともあれ、充分とは言えないものの、このようにして追悼号を刊行する運びとなったのは多くの方々のご協力によるものである。快く甲辞の掲載をお引き受け下さった木村先生をはじめ、お時間の無いところを快諾して下さい、貴重な原稿をお寄せ下さった吉津先生及び諸先生方に心より深甚の謝意を表します。また、この論文集の支援費を浄財して下さいました大韓仏教曹溪宗教育院をはじめとする各団体及び個人の諸先生方に、心から深く感謝申し上げます。そして、印刷出版を快くお引き受け下さった藏経閣の円沢師をはじめ、皆様方に改めて深く感謝致します。最後に、本誌編集の労をとられた鄭榮植氏に心から謝意を表します。

図らずも、金知見先生の追悼論文集を刊行する事になったのは、惜しい限りですが、私達韓国仏教留学生達は、先生のご遺志を引き継いで、自らの研究に励むとともに、日韓仏教交流にも邁進して行くことを志して先生及び皆様方の御恩に報いたいと思います。

2002年 12月

韓国留学生印度学仏教学研究会

会長 李 妍淑 合掌

韓国仏教学SEMINAR

— 既刊号 総目次 —

第一号(1985. 12)

- 新羅華嚴の思想史的意義 鎌田茂雄 (1)
 大乘六情懺悔 木村清孝 (15)
 韓国僧伽の鉢盂供養作法について 梁 銀容 (43)
 煩惱所知二障と人法二無我の研究序説 李 平来 (67)
 光宗の仏教政策と均知の華嚴思想 李杏九(道業) (81)
 仏身論思想の展開…大乘莊嚴經論を中心に 全宗積 (94)

第二号(1986. 12)

- 『宣和奉使高麗図経』の『図解』の再現について 中吉功 (1)
 韓国仏教伝統講院の履歴制度研究 蔡印幻 (6)
 新羅の華嚴教学への一視占
 元暁・法蔵融合形態をめぐって 吉津宜英 (37)
 華嚴經…十回向品の考察 陳永裕(本覚) (50)
 初期仏教 Gahapatiの宗教観念
 —Suttanipātaを中心とした文化試論— 金漢益(悟震) (1)

第三号(1987. 12)

文武王と仏教	田村円澄 (1)
高麗清規としての誠初心学人文	佐藤達玄 (19)
華嚴教判論	張愛順(戒環) (35)
現代巫俗の比較研究	柳春姫 (53)
侍者ĀNANDA	崔庚満(浄印) (27)
Karma and Economic progress	A.SUMANASARA (1)
会員名簿および研究会報	

第四号(1990. 8)

諸思想の対立と宥和	中村元 (1)
仏像にみる二つの姿	西村公朝 (7)
円測と法蔵 - 教体論の関わりについて -	木村清孝 (15)
義相の法諱考 - 海東本華嚴の歴運をめぐって -	金知見 (31)
韓国における葬送習俗の一考察	金永晃(禪晃) (87)
永明延寿の浄土思想	韓京洙(宗沢) (103)
会報	(119)

第五号(1993. 8)

八世紀東アジア仏教研究への展望	吉津宜英 (1)
韓国仏教: 禅の自然観と現代の諸問題	蔡沢洙 (23)
韓国における葬墓制について	金永晃 (43)
天台教学における円教	曹良淑(日蔵) (61)
華嚴観法の研究(博士学位論文要旨)	陳永裕(本覚) (77)
Dar ma rin chenの中観莊嚴論備忘録について	李泰昇 (21)
華嚴経の経題について(2)	真野竜海 (1)
会報	(83)

第六号(1995. 11)

<韓国語版特集号>

日本の印度哲学・仏教学研究 - その歴史と現況 -

発刊に寄せて / 前田専学	iii
『日本の印度哲学・仏教学研究—その歴史と現況—』 の出版を祝う / 奈良康明	v
本書の発刊に寄せて / 江島恵教	vii
激励のことば / 木村清孝	ix
目次	xi
1. 印度哲学篇	
日本の印度哲学研究現況 / 沈奉燮	1
日本のシャンカラ哲学研究 / 秀雄(李栄洙)	105
2. 印度仏教篇	
日本の初期仏教及び南方上座部仏教研究の 歴史と現況 / 正円(金宰晟)	191
日本の俱舎学・唯識学研究現況概観 / 李鍾徹	341
日本の初・中期中観派 研究史 - ナガーアールジュナの 著書、理解方式そして解釈 - / 李恵卿	367
日本の後期中観派研究 / 李泰昇	429
3. 中国仏教篇	
日本の中国天台教学研究史 / 日蔵(曹良淑)	475
華嚴学研究資料集 / 浄嚴(徐海基)	591
日本の中国華嚴思想研究の歴史と現況 — 澄観・宗密・李通玄を中心として — / 曹潤鎬	659
執筆者紹介	705
会報	706
編輯後記	711
総目次	713
索引	715

第七号(1998.11)

生解脱の定義	沈 奉燮 (1)
Buddhaghosa's interpretation of Dhamma and Vinaya in the MahAparinibbAna Suttanta	安 良圭 (16)
界差別について—南北両阿毘達磨の修行道における位置づけ—	金 宰晟(正円) (36)
『法華経』第三類六品の意義について.....	金 栄生(慧学) (51)
清涼国師澄観の伝記と学系.....	徐 海基(浄厳) (81)
宗密における真理の把握 —「円覚」の理解と関連して—	曹 潤鎬 (108)
義湘系華嚴文献に見える論理—重層的教理解釈.....	佐藤 厚 (136)
均如の華嚴学における二乗廻心.....	金 天鶴 (158)
鎌倉時代における戒律復興運動の二形態 — 授戒制度を中心として—	沈 仁慈 (182)
筆者紹介	(198)
会報	(199)
編集後記	(202)
既刊号総目次	(203)

第八号(2000.7)

巻頭言：韓国仏教研究の現状と新しい未来	柳田聖山
特集：日本における韓国仏教思想の研究の成果と展望 企画の辞	
韓国仏教通史の主な研究	石井修道 (1)
韓国華嚴学研究	曹 潤鎬/佐藤 厚 (12)
新羅唯識の研究状況について.....	橋川智昭 (66)
朝鮮禅思想に対する研究.....	石井修道 (127)
三国時代・統一新羅時代の仏教に対する研究.....	福士慈稔 (162)
高麗時代の仏教に対する研究.....	佐藤 厚/金 天鶴 (242)
朝鮮時代の仏教に対する研究.....	金 天鶴 (269)
研究論文	
大乘仏教起源に関する一考察.....	朴点淑(一黙) (283)
コーサンビー噺度における二種の不同住地.....	李慈郎 (300)
On Wŏnhyo's Ijangŭi (二障義).....	Charles Muller (322)
新羅義湘の唯識説.....	大竹晋 (337)
新羅唯識派の芬皇寺玄隆『玄隆師章』の逸文研究.....	岡本一平 (360)
韓国のターミナルケアにおける寺院の福祉活動の現状と課題	尹賢淑(禅般) (402)
会報	
編集後記	